

IC配置の考え方について

事業者として、今後のインターチェンジ配置位置の選定については、右のような流れで進めることとします。

7pでお示した6つのIC候補地の中から、望ましい組み合わせを考え、次回の瓦版において事業者の案として具体的に提案させて頂く予定です。

ICの配置にあたり配慮すべき条件は、これまでにお示ししておりましたが、改めて以下に整理します。これらの条件を考慮しながら、事業者案を検討することとします。

①「大沢野・富山南道路」への出入り

本道路への出入りは、インターチェンジに限られます。自動車専用道路であることから、インターチェンジ以外の箇所から出入りすることは出来ません。

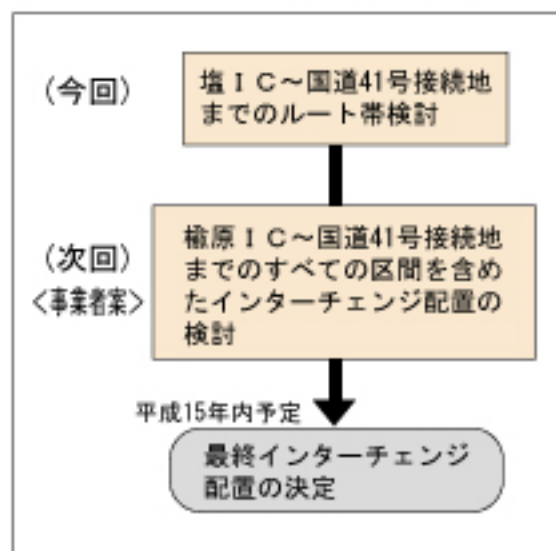
② インターチェンジの間隔は1kmが目安

道路の構造上、インターチェンジの間隔は1km程度必要となります。本道路に乗る車と降りる車とが接触しないよう、安全に通れる最低の間隔の目安が1kmです。

③ 交差する道路の機能から判断

インターチェンジ設置箇所は、交差する道路のもつ機能に応じて検討します。例えば、交差する道路が本線に乗り降りする交通を処理できる幅員を備えているか、市街地や主要な施設へ直結しているか、あるいは周辺市町村へ至る広域的な機能を有しているかなどの点を評価します。

<インターチェンジ配置の決定までの流れ>



なお、本瓦版に差し込んでいるアンケートに、ICに関する質問を設けております。検討の参考にさせていただきますので、ご協力ください。



当面の活動予定

今回の瓦版でお示した内容について、地域懇談会を開催いたします。詳細は、後日改めてお知らせいたします。

> 地域懇談会

- 開催日時：平成15年6月下旬～7月上旬の平日
※開催時間は19:00
- 参加者と会場：
対象者：・総代さん
・地元経済団体等の代表者の方々
会場：大沢野町民文化会館(予定)
- ご説明内容：今回の瓦版の内容について

